

つぎの「うれしい!」へ。  
**keiYO GAS**

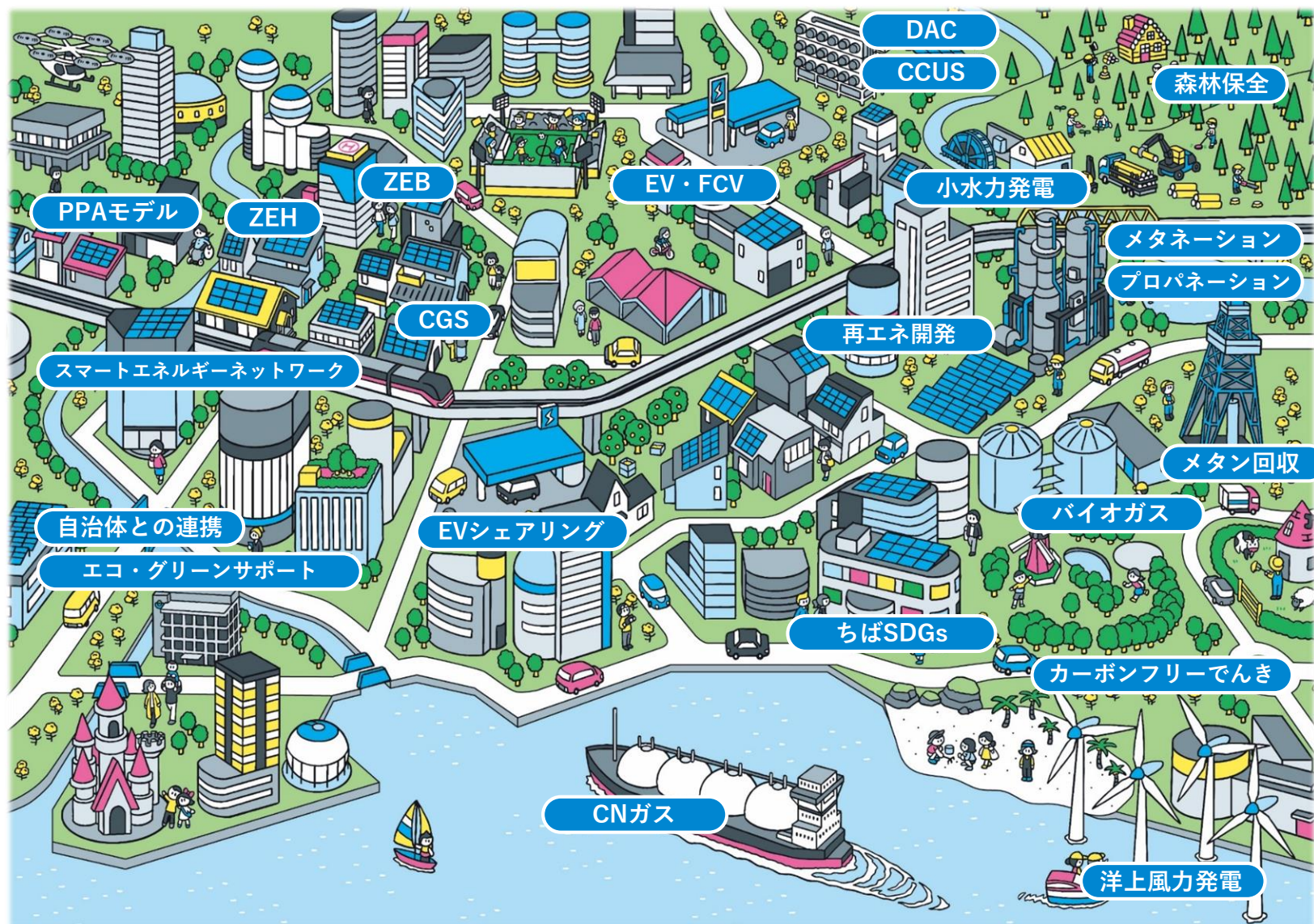
カーボンニュートラルチャレンジ  
**2050**

2022年4月



オール京葉ガスは、“持続可能な社会”を実現するために、

## 2050年のカーボンニュートラルにチャレンジします



※PPAモデル：お客さまの敷地等に無償で設備を設置、維持管理して電気を供給する仕組み ※ZEH・ZEB：年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとなる住宅・建築物 ※CGS：コージェネレーションシステム  
※EV：電気自動車 ※FCV：燃料電池自動車 ※DAC：大気中のCO2の直接回収 CCUS：CO2回収・有効利用・貯留 ※メタネーション・プロパネーション：水素とCO2から合成メタン・合成プロパンを生成する技術

オール京葉ガスは、低炭素エネルギー「都市ガス」の普及に取り組んできました  
今後、これまでの取り組みをさらに深化させてまいります

## これまでの取り組みと目指す地点

1956年：都市ガス原料に環境への負荷が少ない天然ガスの利用を開始

2006年：天然ガス調達先の多様化

2010年：「エコ・グリーンサポート」「エコ・アクションサポート」  
にて自治体などの環境活動を支援

2021年：「カーボンニュートラル都市ガス※1」の供給開始

2022年：「カーボンフリーでんき※2」の供給開始

2050年：カーボンニュートラル

※1 お客さまの使用したガス量分のCO2をカーボン・オフセットした都市ガス

※2 お客さまの使用した電力量分のCO2をカーボン・オフセットしたでんき

2050年のカーボンニュートラルに向けて、  
オール京葉ガスは、**3つの“Challenge”**に取り組めます

## Challenge 1

### お客さま先

- 低炭素ガス体エネルギーの供給拡大
- カーボンフリーでんきの活用
- 省エネの推進
- 地域との連携

## Challenge 2

### 脱炭素への手法・新技術

- 再生可能エネルギーの開発
- 脱炭素への貢献手法
- R&Dの推進

## Challenge 3

### 自社・グループ会社・取引先

- 事業活動のカーボンニュートラル化

## 2030年目標

CO2削減貢献量

80万t

カーボンフリー  
電源取扱量※

30万kW

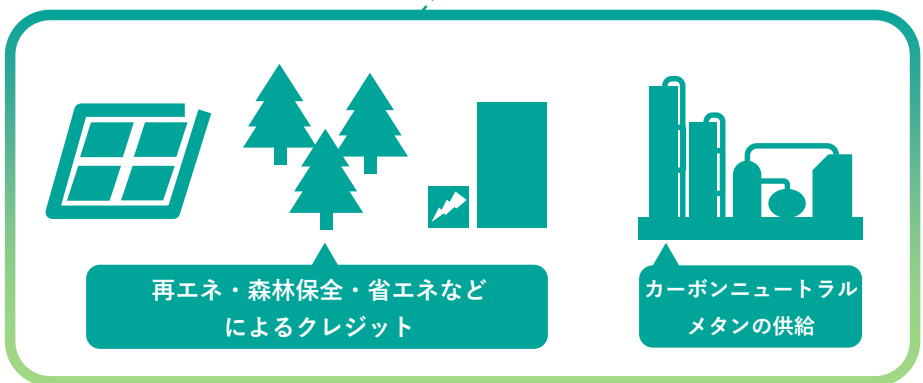
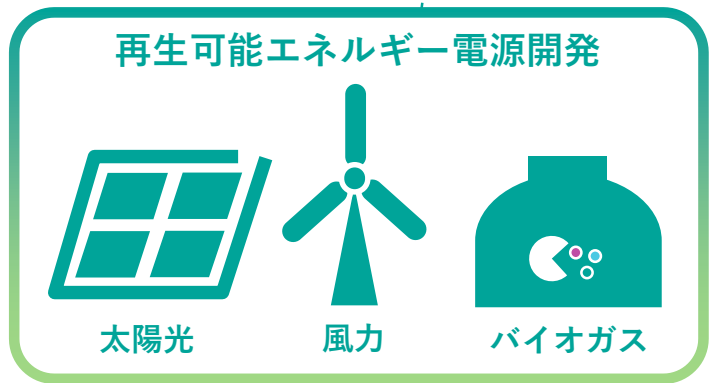
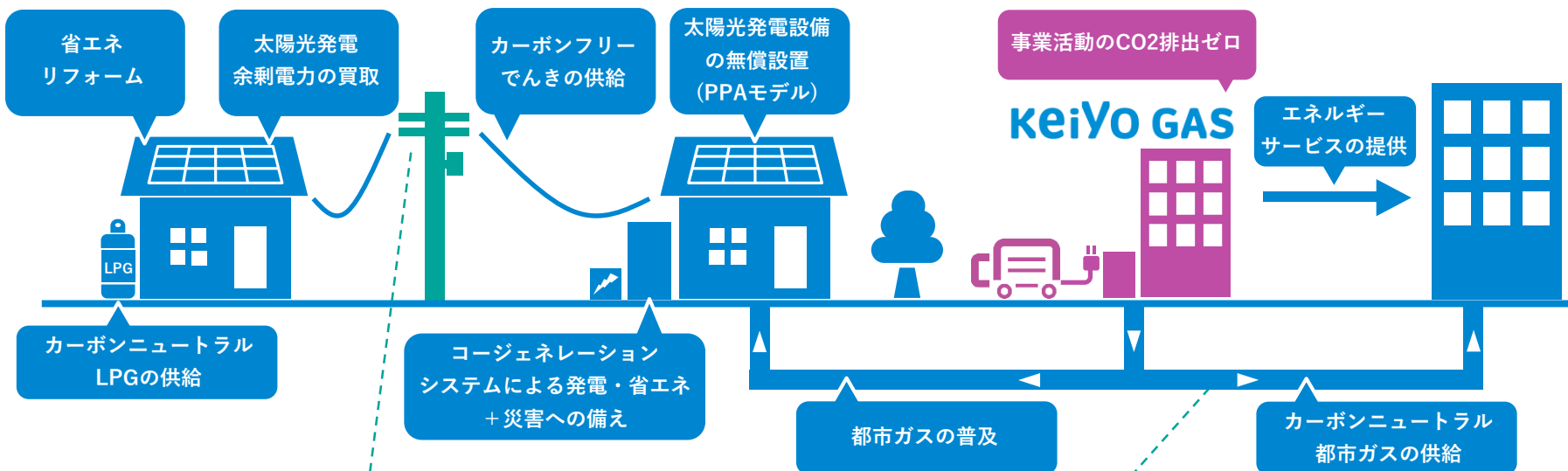
都市ガスのカーボン  
ニュートラル化率

5%



オール京葉ガスの様々な取り組みを通して、オール京葉ガスの事業に伴うCO2排出量のうち、80万トン（排出量の約48%相当※）のCO2削減に貢献します

2030年  
CO2削減貢献量 **80万トン**



※2013年におけるCO2排出量

CO2削減に貢献するエネルギー・サービス・商品を積極的に提供するとともに、より快適で安心な暮らしをお届けします

## 低炭素ガス体エネルギーの供給拡大

### カーボンニュートラルガスの供給

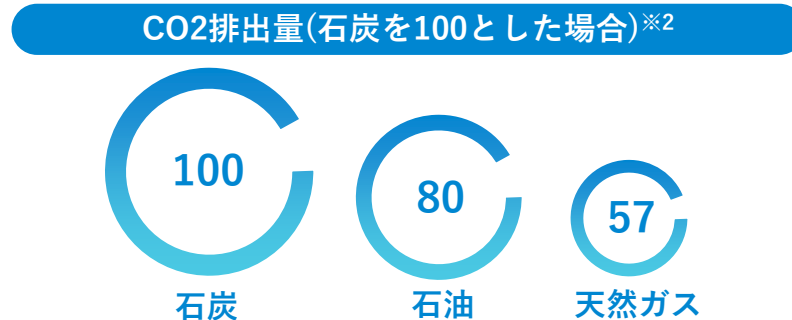
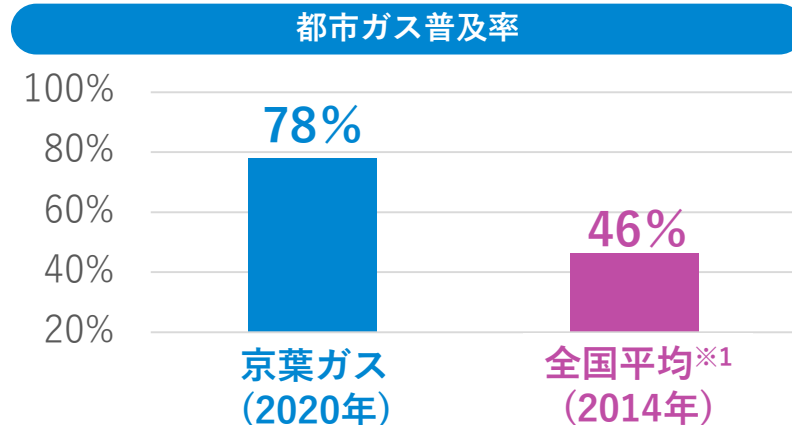
お客さまがご使用になる  
ガス体エネルギーの脱炭素化を推進します



2030年  
都市ガスのカーボンニュートラル化率 **5%**

### 天然ガスシフト

当社は全国的にも高い都市ガス普及率を実現しており、引き続き高い普及率を維持します

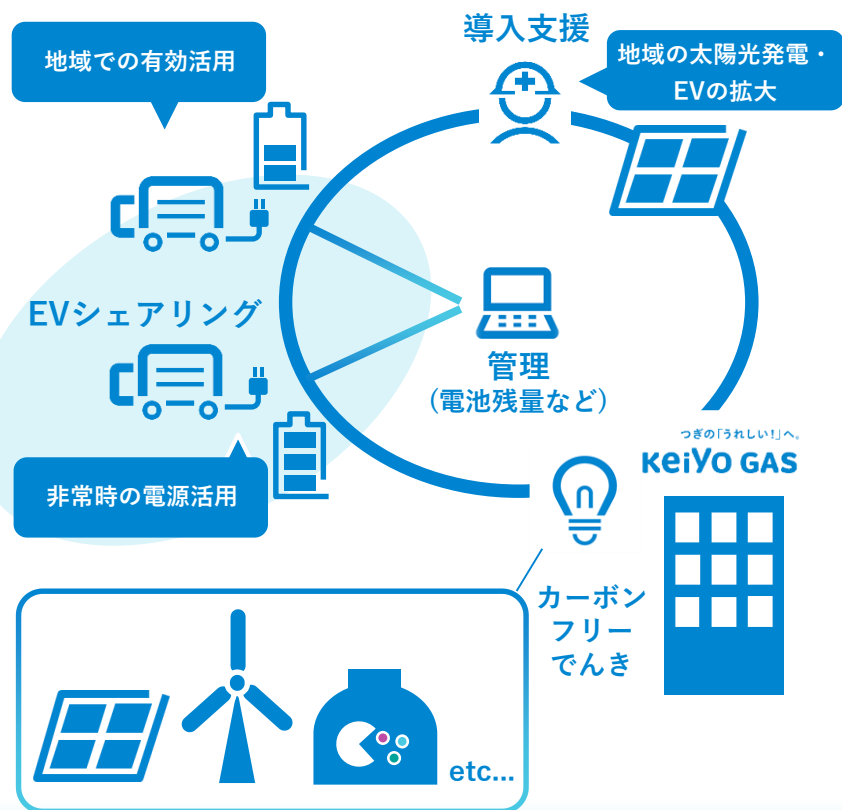


※1：経済産業省HP(普及率 = 調定数/世帯数) ※2：【出典】日本ガス協会HP

## カーボンフリーでんきの活用

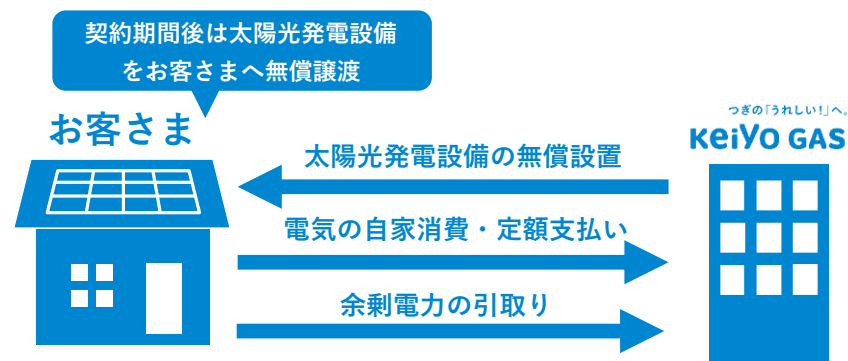
### カーボンフリーでんきなどを活用したサービス展開

カーボンフリーでんきなどを最大活用できるように様々なサービスを展開します



### PPAモデル (そらサポ)

CO2の削減、災害時などの電力供給により、お客さまに快適で安心できる暮らしをお届けします



### 余剰電力の買取

太陽光発電の余剰電力買取を推進します



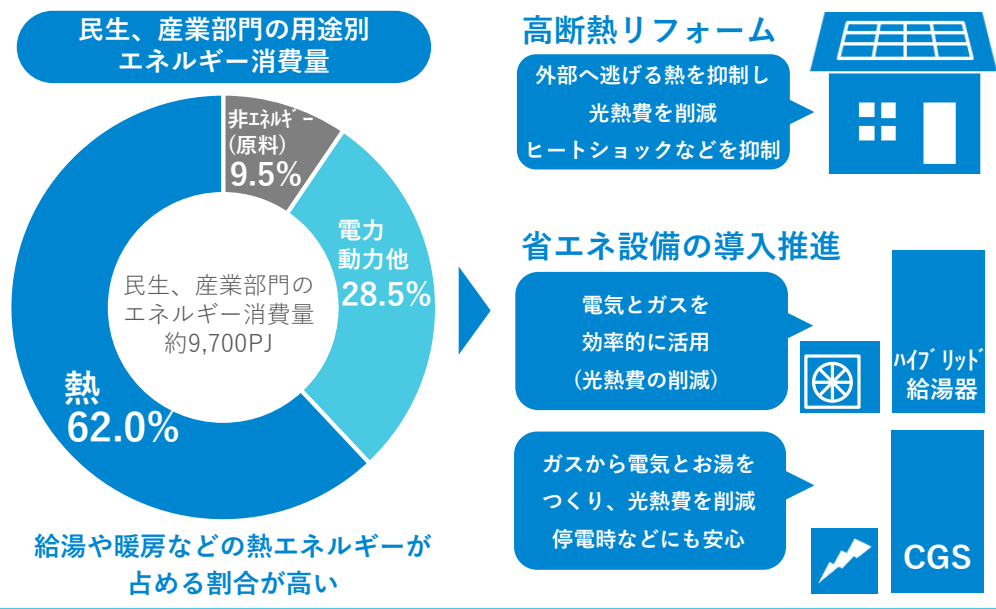
## 省エネの推進

### 建築物・住宅における省エネ化

建築物・住宅におけるエネルギー消費を抑制するための取り組みを推進します

- ZEBへ貢献(太陽光発電・CGS・BEMS※など)
- ZEHへ貢献(CGS・ハイリット給湯器など)

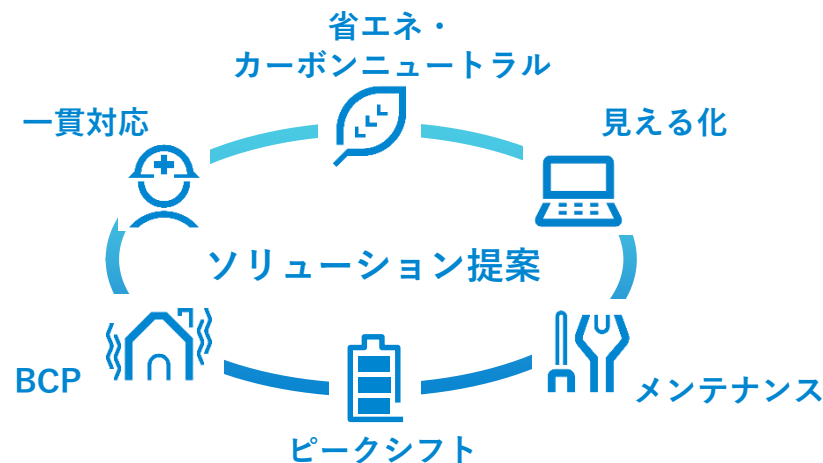
#### 京葉ガス船橋ビルZEB-Ready認証取得



### エネルギーサービス

お客さまのエネルギーに関する課題解決のソリューション提案を推進します

設計～アフターフォロー、BCP対応までお客さまのお困りごとにお応えすることで長期的な省エネ・安心をお届けします





## 地域との連携

### 自治体との連携

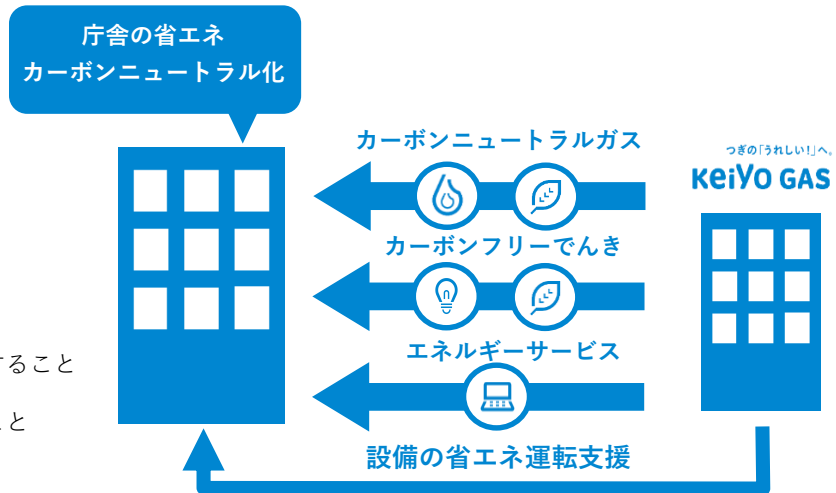
お客さまがくらす地域の  
ゼロカーボンシティを実現できるよう  
自治体との連携を**強化・拡大**します

#### 「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携に関する協定」



#### 浦安市の場合

- ・公共施設の脱炭素化に向けたエネルギー供給に関すること
- ・地域の脱炭素化に向けた支援に関すること
- ・環境・エネルギー施策の情報提供・助言に関すること
- ・地域への環境教育および普及啓発に関すること
- ・その他、ゼロカーボンシティの実現に関すること



### 脱炭素先行地域への貢献

オール京葉ガスは、  
“社会課題の解決” 及び “エリア価値の向上” を  
目指した事業を展開しています

地域のみなさまと連携して、脱炭素先行地域  
づくりに積極的に取り組みます

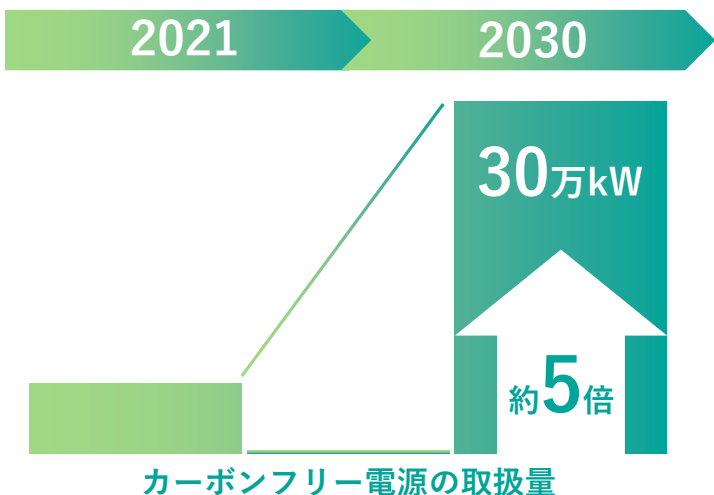
### エコグリーンサポート

高効率ガス機器の販売台数および  
天然ガスシフト数などに応じて各市へ寄付を  
行い、お客さまがくらす地域の**環境保全活動を**  
**サポート**します



国内外で再生可能エネルギーを積極的に開発するとともに、脱炭素・SDGsに資するR&D（研究開発）を推進します

### 再生可能エネルギーの開発



2030年  
カーボンフリー電源取扱量 **30万kW**

オール京葉ガスの  
豊富な再生可能エネルギー開発実績

- 太陽光発電
- バイオマス発電
- 小水力発電

京葉ガスエネルギーソリューション株式会社  
KeiYO GAS グループ

### 再生可能エネルギーファンドへの出資

株式会社Loopコミュニティが組成する国内の太陽光発電所を投資対象とするファンド「こもれびファンド1号」に出資



### グリーンボンド※発行

再生可能エネルギー事業への出資金に充当するため、グリーンボンドによる資金調達を実施

発行金額 **10億円**

#### 2021年

第三者評価として、株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRグリーンボンド評価」の**最上位である「Green1」**の評価を獲得

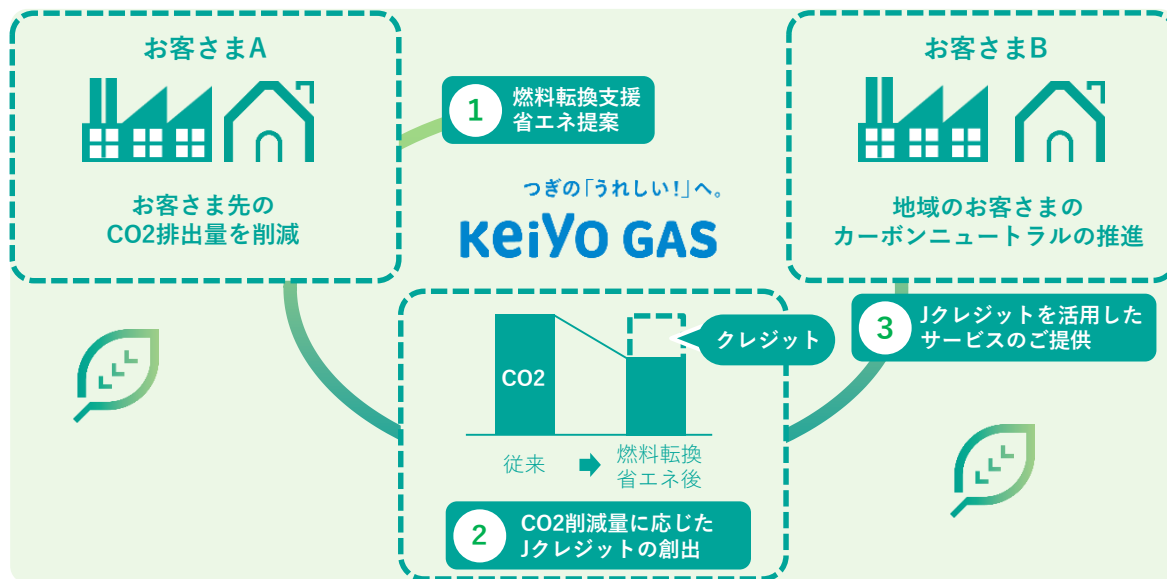
※グリーンボンド：気候変動・水・生物多様性対策など、環境に好影響を及ぼす事業活動に資金用途を限定した債券

### 脱炭素への貢献手法

#### Jクレジットの創出・活用

豊富な経験・知見に基づいたレジリエンスや省エネ提案を通して、お客さま先や地域におけるCO2排出を削減し、クレジットを創出します

創出したクレジットを地域で消費することで、クレジットの地産地消に取り組めます



#### 森林保全

豊かな森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくために、森林保全に取り組めます



### R&Dの推進

#### バイオガス活用

“オール京葉ガス”の有する知見・資産を活用し、脱炭素・SDGsに資する研究開発を学術機関・スタートアップ企業などと推進します

#### 食品廃棄物等の利活用



#### カーボンニュートラルガス社会実装への貢献

メタネーションやプロパネーション、CCUSなどの社会実装に積極的に貢献します

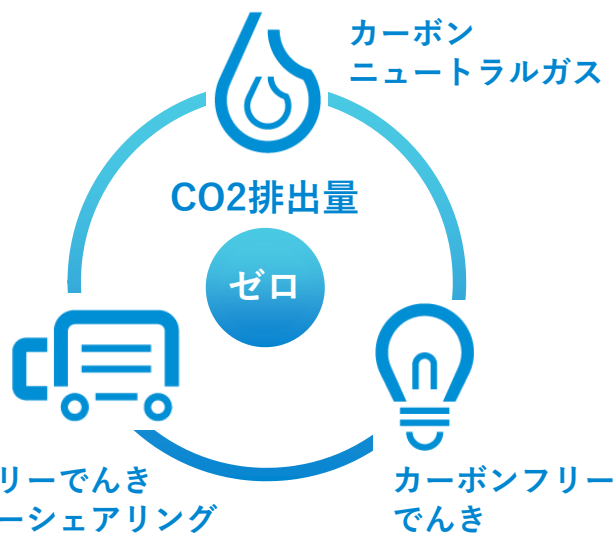
#### メタネーション(イメージ)





オール京葉ガスの事業活動※<sup>1</sup>におけるCO2排出量を早期に実質ゼロとし、取引先と連携して積極的にカーボンニュートラルに取り組めます

## 事業活動のカーボンニュートラル化



2030年  
京葉ガス CO2排出量 **ゼロ**※<sup>1</sup>

オール京葉ガスへ水平展開

2030年以降早期に  
オール京葉ガス CO2排出量 **ゼロ**※<sup>1</sup>

### ペーパーレス化・DX※<sup>2</sup>

様々な業務・サービスを電子化・効率化することによりCO2削減に貢献するとともに、Web型サービスの拡充により、お客さまの利便性を向上させます



サービスの  
拡充



### 取引先との連携

取引先とも連携し環境負荷を軽減、SDGsにも積極的に貢献します

#### ちばSDGsパートナー登録制度

京葉ガスは、ちばSDGsパートナー登録企業として、地域におけるSDGsの機運の醸成・取り組みを推進します



ちばSDGs

ちばSDGsパートナー352号

つぎの「うれしい!」へ。

**KeiYO GAS**